令和４年度　環境経営レポート

（対象期間：令和３年 11 月１日～令和４年 10 月 31 日）

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

㊐環境省

エコアクション21

認証番号0007902

株式会社 西 吾 建 設

発行日：令和５年２月　２日

改定日：令和５年８月 28 日

１．環境経営方針

株式会社 西吾建設　　環境経営方針

社会基盤整備を担う建設業の一員として「地域社会への貢献」のみならず地球規模の観点に立ち、自らの事業活動における環境負荷の低減はもとより環境保全と経営活動が両立する持続可能な社会の実現に貢献する。

１.水使用量の削減に努める。

２.製品、設備、土木建築物等の環境性能を向上、並びに工事における ICT 化の推進。

３.環境側面に関する法規制・協定を遵守する。

４.本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開する。

５.下記の項目を重点的に取り組み、環境経営システムの継続的改善を図ります。

①建設事業に伴う、電力と燃料及び二酸化炭素の削減に努める。

②建設物の設計及び施工及び内勤業務において、廃棄物の削減及びリサイクルを推進し環境保全を目指す。

制定日：2011 年　6 月　1 日

改定日：2023 年　8 月 28 日

株 式 会 社　西 吾 建 設

代表取締役　西 浦 明 彦

２．組織の概要と対象範囲

⑴ 事業所名及び代表者氏名
株式会社　西吾建設
代表取締役　西浦明彦

⑵ 所在地
本　　社：兵庫県豊岡市桜町２２－１６（登記上）
加陽事務所：兵庫県豊岡市加陽１３７８　（資機材置場を併設）

⑶ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者　有吉信之
連絡先：TEL 0796-22-2251
FAX 0796-24-4451

⑷ 事業活動内容：土木工事業

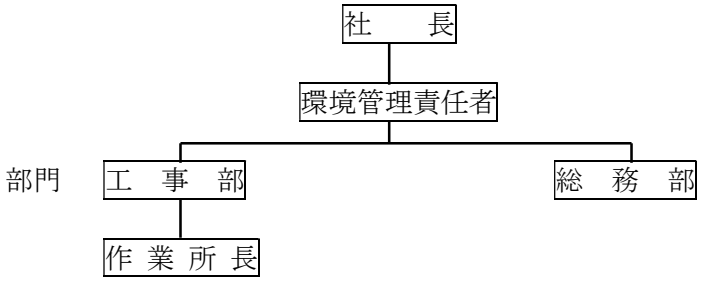
⑸ 事業規模
年間売上高　977 百万円
従業員数　25 人
事務所面積　54 ㎡　資材置場　1,813 ㎡

⑹ 建設現場等の概要
元請工事　13 件
下請工事　17 件

⑺ 事業年度　11 月 1 日 ～ 翌年 10 月 31 日

⑻ 認証・登録範囲
事業活動　：　土木工事
対象事業所　：　本社、加陽事務所

環境システム推進組織図



【適用範囲】

株式会社西吾建設本社、加陽事務所、及び各現場

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
社　　長	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境方針を策定し、従業員に周知させる ③資源（人・もの・金）の用意をする ④エコアクション 21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者を任命する ⑥作成された環境経営レポートの確認と承認
環境管理責任者	①エコアクション 21 建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、文書化し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21 文書類の承認をする ④環境委員会の委員長として EMS 全般の舵取りを行い、実行を推進する ⑤環境への負荷の自己チェックを実施する ⑥環境への取組の自己チェックを実施する ⑦環境経営計画の達成と実績の把握を行う ⑧環境経営レポートの作成
各部門及び全従業員	①環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ②自部門に関連する法規制等を順守する ③自部門の教育・訓練を実施する ④社内外の環境情報の収集と伝達をする
作業長	①作業所における EA21 実行責任者を兼ねる。 ②作業所の EA21 活動を実績する。

３．主な環境負荷の実績

項　　目	単位	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	1,425,168	1,581,048	1,143,412	910,116	830,414
一般廃棄物排出量	t	1.03	1.15	1.36	0.65	0.71
産業廃棄物排出量	t	267.35	330.74	1,062.09	170.06	1,134.56
水使用量	m^3	71	65	62	63	59

電力会社（関西電力㈱、H29 年度）の二酸化炭素排出係数：0.418 kg-CO_2/kWh

４．環境経営目標

No.	環境経営目標	単　位 基準値	R4 年度 目標	R5 年度 目標	R6 年度 目標	R7 年度 目標
1	【二酸化炭素排出量削減】 事務所電力 使用量の削減	3,463kg-CO_2 (8,287kWh) (H23～H26 年平均)	7.5%削減 7,665kWh	8.0%削減 7,624kWh	8.5%削減 7,582kWh	9.0%削減 7,541kWh
2	【二酸化炭素排出量削減】 10ｔダンプの 燃費向上	km/L 2.235 (R1～R2 年平均)	2.300	2.300	2.300	2.300
3	【二酸化炭素排出量削減】 ガソリン車の 燃費向上 （軽油）	km/L 13.80 (R1～R2 年平均)	14.00	14.00	14.00	14.00
4	【廃棄物排出量削減】 焼却ごみの削減	kg 1,373 (H25 年実績)	8.0%削減 1,263	9.0%削減 1,249	10.0%削減 1,235	11.0%削減 1,221
5	【リサイクルの促進】 産廃の再生利用 の促進	% 98.00 (R1 年実績)	98.00	98.00	98.00	98.00
6	【総排水量削減】 事務所上水道 の節水	m^3 73 (H24～H25 年平均)	73	73	73	73
7	【製品の環境性能の向上】 製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上、ICT 化の推進	台/年 1	1	1	1	1

1. 電力会社（関西電力㈱、H29 年度）の二酸化炭素排出係数： 0.418 kg-CO_2／kWh
2. 目標の計算例
   - 10ｔﾀﾞﾝﾌﾟの燃費 ＝ 距離 ÷ 燃料
   - ガソリン車の燃費 ＝ 上記 10ｔﾀﾞﾝﾌﾟと同じ方法です
   - 産廃の再資源化率（%）＝ 100 ×　産廃の再生資源化量 ÷ 産廃の総排出量
   - 化学物質は使用していない為、目標に設定していない
   - 灯油と LPG は使用量が少ない為、目標に設定していない

５．主要な環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	環境経営目標 (環境方針との関連)	環境経営計画 の概要	今年度の取組結果の評価		次年度の取組 内容
1	事務所電力使用量 の削減 (環境経営方針 5-①)	・空調設定温度 ・不要照明の消灯 ・OA 機器の電源 実施責任者 総務職員	目標：7,665kWh 実績：5,974kWh 達成率 128.30% 達成○ 排出量 2,497.13 kg-CO_2	達成できたが、昨年実績 5223.1kWh より約 14.38%増加したのが残念。 今年度の太陽光発電 11,606 kWh	・適正な冷暖房温度 ・不要な照明の消灯 ・OA 機器の省電力ﾓｰﾄﾞの活用
2	10ｔダンプ の燃費向上 (環境経営方針 5-①)	・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ減少 ・過激な冷暖房 ・急な発進、ﾌﾞﾚｰｷ 、空ふかし 実施責任者 10ｔ運転手	使用量 146,536.0 ℓ 距 離 413,135 km 目標：2.300km/L 実績：2.819km/L 達成率 122.56% 達成○ 排出量 378,062.88 kg-CO_2	省エネ運転ができた。 坂道の走行が少なく、それも影響あり。	・不必要なｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ(ｴｱ溜め)の防止 ・急な発進、急ﾌﾞﾚｰｷ、空ふかしの回避 ・業務が終わればすみやかに帰所する
3	ガソリン車の 燃費向上 (環境経営方針 5-①)	・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ減少 ・過激な冷暖房 ・急な発進、ﾌﾞﾚｰｷ 、空ふかし 実施責任者 各運転手	使用量 4,740.37 ℓ 距 離 69,838 km 目標：14.00km/L 実績：14.73km/L 達成率 105.21% 達成○ 排出量 10,997.66 kg-CO_2	走行距離の多い車両の燃費が良かった。	・停車時にはｴﾝｼﾞﾝｽﾄｯﾌﾟ ・急な発進、急ﾌﾞﾚｰｷ、空ぶかしの回避
二酸化炭素排出量（上記合計）			391,557.67 kg-CO_2	―	―
4	焼却ごみの削減 (環境経営方針 5-②)	・裏紙の使用 ・ごみの分別 ・廃品回収 実施責任者 総務職員	目標：1,263kg 実績： 605kg 達成率 208.76% 達成○	分別により減少できた。	・ごみを分別 ・ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、新聞紙は廃品回収に
5	産廃の再生利用 の促進 (環境経営方針 5-②)	・廃棄物の分別 実施責任者 作業所長	総排出量 1,134,560 kg 再資源化 1,130,330 kg 目標：98.00% 実績：99.63% 達成率 101.66% 達成○	混合廃棄物の量が 4230kg と、昨年と比べても少なくできた。	・適切な分別による混合廃棄物の減少
6	事務所上水道 の節水 (環境経営方針 1)	・蛇口の管理 実施責任者 総務職員	目標：73 m^3 実績：59 m^3 達成率 123.72% 達成○	皆の協力で達成できた。	・節水の明示 ・蛇口の水量の調整
7	製品、設備、 土木建築物等の 環境性能の向上 (環境経営方針 2)	・最新の建設機械及びﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸの導入 実施責任者 社長	0.1ﾊﾞｯｸﾎｳ 1台 0.7ﾊﾞｯｸﾎｳ 1台 目標：1台 実績：2台 達成率 200.00% 達成○	今後も努める	・最新の排ガス規制された建設機械・ダンプの導入 ・ﾄﾞﾛｰﾝやﾄｰﾀﾙｽﾃｰｼｮﾝを含む ICT 化機器の導入

６．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

⑴当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去５年間ありません。

No.	法律名	遵守すべき主な要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	・収集運搬・処分業者との適正な契約 ・マニフェストの保管 ・現場保管基準の遵守 ・積替え保管なし ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書	遵守
2	建設ﾘｻｲｸﾙ法	・発注者提出書類による ・知事への届出書	該当なし
3	騒音規制法	・特定建設作業の届出 ・敷地境界線での規制基準 85dB の遵守	遵守
4	振動規制法	・特定建設作業の届出 ・敷地境界線での規制基準 75dB の遵守	遵守
5	河川法	・河川管理者への届出書	該当なし
6	消防法	・指定可燃物の保管の届出 ・消火器の設置消防署長への届出書	遵守
7	ﾌﾛﾝ排出抑制法	・空調機の 3 か月以内ごとの簡易点検実施 ・廃棄時における回収依頼書又は委託確認書の交付、回収業者が交付した引取証明書 ・記録の保存	遵守
8	自治体との災害時応援協定	・災害時に応援派遣する	該当なし

（順守確認日：令和 4 年 12 月 15 日）

⑵環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去 5 年間に 1 件も発生しておりません。

７．代表者による全体評価と見直し・指示

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の必要性
環境経営方針	・環境経営方針は適切か	“ICT 化の推進”を追加	推進する	■有り □無し
環境経営目標及び環境経営計画	・環境経営目標、経営計画の達成状況は妥当か (課題とﾁｬﾝｽ、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、総排出量削減、製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上)	５年度の環境経営目標から”製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上”に”ICT 化の推進”を追加する	推進する	■有り □無し
その他の環境経営システム	・環境負荷に大きな変化 ・法規制等の遵守状況 ・教育・訓練の実施 ・外部からの苦情や要望 ・実施及び運用の適切性 ・緊急事態への準備状況 ・取り組みの確認並びに是正処置の状況 ・環境経営ﾚﾎﾟｰﾄの作成と公表、活用状況	適切である	変更しない	□有り ■無し
実施体制	・実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	効果的であり､変更の必要はない	今のまま継続したい	□有り ■無し
前回の代表者指示事項のﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ	ゴミの削減、節電、節水、すべて達成できた。 特にゴミの削減は努力したようだ。今後も期待したい。			
今回代表者の指示事項	・ゴミを分別し、減らし、再利用を促す。 ・ウクライナ情勢により燃料、電気が高騰したことをうけ、今以上に努める。 ・手洗いは感染症対策に有効であり推奨するが、節水には努める。			
総合評価 （次年度以降への展開を重点に記載する）	今の世界情勢では、燃料、食料が非常に高くなり、今まで以上に環境負荷軽減に努め環境経営を推進する。			

実施日　令和 5 年 1 月 31 日
代表取締役　西 浦 明 彦